

T J A T活動報告書

報告者 黒崎 洋昭

大会名	第13回 全国小学生学年別柔道大会 富山県大会
日時	平成28年5月29日(日) 開会式 午前9時
会場	県営富山武道館
対象	小学生5～6年生の男女122名
参加者名	一ノ瀬 充、黒崎 洋昭

活動内容

富山県柔道連盟からの救護支援依頼により、一ノ瀬 充 先生と私の2名で全国小学生学年別柔道大会富山県大会の救護活動を行いました。県内の各地区から小学5～6年生の男女122名が集まり、それぞれの階級別で全国大会の出場を目指して熱戦が繰り広げられました。

我々は準備のため、開会式が始まる1時間前に会場へ集合しました。テーピングや応急処置に必要な物を準備し、氷嚢への氷詰めなどの作業を行いました。その頃、すでに選手達は稽古を始めていて、指導者と選手が試合に備えて入念に稽古している姿は緊張感を感じました。

実際の活動内容としては、以前に足関節を負傷した選手の再発防止のテーピング固定が2人、試合中に投げられた際に左足首(リスフラン関節)を捻り負傷した選手が1人いましたが、幸い軽度の負傷とみられアイシング及び包帯で圧迫固定の処置を行いました。

毎回思うことですが、試合会場での救護活動は、受傷直後に怪我の状態を判断して対応・処置しなければいけません。このようなことは、通常の業務ではあまり経験することは少ないため、今回も良い経験をさせていただきました。

最後に、子ども達が柔道続けるには親の理解と協力が必要です。今回も観客席からは、父兄の熱い声援が飛び交い大変盛り上がっていました。また、大会の運営に関わる柔道連盟の先生方、審判員の先生など柔道に対する熱心さが伝わってくる、とても良い大会でした。